

かすがい

市議会だより

第4回市議会定例会

条例案・一般議案などを可決

主な内容

- 第4回定例会…………… 2～3P
- 一般質問など…………… 4～8P

KASUGAI CITY COUNCIL

2006. 8 第 40 号

サギソウ(ラン科)

国の絶滅危惧種に指定され、市内では
東部丘陵地のみで見られる。

市議会だよりは、環境保護のため再生紙を使用しています。

条例案・一般議案など17件を承認・可決

平成18年第4回定例会

平成18年第4回定例会は、6月26日から7月11日までの16日間の会期で開催されました。

定例会には、補正予算案3件、条例案9件、一般議案4件、議員提出議案1件が提出され、承認・可決されました。

また、請願1件は不採択となりました。

なお、一般質問は7月6日、7日に17名の議員が市政の課題について、当局の考え方をたしました。

補正予算案

▽平成17年度一般会計補正予算の専決処分の承認

財源の組み替えの補正を行うものなどです。

▽平成18年度国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認

前年度繰上充用金として、23億8,300万円を補正するものです。

▽平成18年度老人保健医療事業特別会計補正予算の専決処分の承認

前年度繰上充用金として、6,773万円を補正するものです。

条例案

▽総合計画審議会条例の一部を改正する条例

審議会委員定数を現行20人以内から30人以内に増やし、委員の委嘱要件に、市長が必要と認める者の項目を加えるものです。

▽職員の公益法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例

会社法の改正に伴い、有限会社を削除するものです。

▽議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

複数就業者の就業場所から勤務場所への移動及び単身赴任者の赴任先住居と帰省先住居との間の移動を通勤範囲に加えるものです。

▽市税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、地震保険料控除を設けるもの、所得割の税率を一律6%に改定するもの、平成20年度から平成28年度に限り、所得税における住宅借入金等特別税額控除額等によって算出した一定の金額につき、その5分の3に相当する金額を所得割の額から控除するもの、平成18年度をもって定率減税を廃止するもの及び市たばこ税の税率を引き上げるものなどです。

▽消防団員にかかる退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

退職報償金の支給額を引き上げるものです。

▽私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例

新しく小学1年生に兄又は姉がいる場合の補助金額等を定めるとともに、全体を改定するものです。

▽国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、規定を整備するものです。

▽医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

現行、心身障害者医療費のみの居住地特例の適用範囲を乳幼児・母子家庭等・老人医療費等について広げ、適用する施設の種類を国民健康保険法に基づく施設とするものです。

▽助役の給与の特例に関する条例

助役の給料を8月の1カ月間、10%減額するものです。

一般議案

▽東野下水路支線[第1工区]築造工事の請負契約

東野下水路支線を築造するものです。

契約金額 2億2,995万円

相手方 株式会社秋吉組

▽出川小学校体育館新築工事(建築)の請負契約

出川小学校の体育館を新築するものです。

契約金額 2億1,735万円

相手方 大井建設株式会社

内容 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
平屋建
建築面積 1,446.53㎡

▽消防自動車の購入契約

救助工作車を購入するものです。

契約金額 7,236万6,000円

相手方 株式会社モリタ



▽和解及び損害賠償の額の決定

平成16年2月2日春日井市民病院における医療事故についての損害賠償を行うものです。

損害賠償額 300万円

請願審議

第4回定例会に1件の請願が提出され、委員会に付託し、審査しました。

その後、本会議で委員長の審査結果報告の後、採決し、その結果は次のとおりです。

▽小泉首相に靖国参拝の中止を求める意見書提出についての請願書・・・・・・・・・・不採択

議員提出議案

定例会最終日に決議1件を議員提出し、原案のとおり可決しました。

▽北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議

今般、複数回にわたって朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)から弾道ミサイルが発射された。

北朝鮮は、ミサイル発射を「国の自主権に属する問題だ」と、述べているが、この弁明は通用するものではない。

公海に達するミサイルの発射を、事前通告なしに行うことは、航空機や船舶に危険を及ぼすものであり国際ルールに反するものである。

また、我が国を含む各国が事前の警告をしたにもかかわらず北朝鮮が発射を強行したことは、発射の凍結

延長を明記した日朝平壤宣言に反するのみならず、北東アジアの平和と安定を脅かす行為である。

よって春日井市議会は、北朝鮮の弾道ミサイルの発射に嚴重に抗議するとともに、今後、二度と行わないよう強く求めるものである。

以上決議する。 平成18年7月11日

議員表彰

5月24日に開催された第82回全国市議会議長会定期総会において、4名に表彰状が授与されました。

なお1名に感謝状が贈られました。

[表彰状]・・・議員在職15年

梶田晃男、富士道国昌、堀尾龍二、伊藤裕規

[感謝状]・・・全国市議会議長会産業経済委員

野田淑人

平成18年第3回臨時会

平成18年第3回臨時会は6月2日に開催し、新議員にかかる常任委員会の選任を行いました。

安藤盛行議員は厚生委員、政木理香議員は建設委員、水野義彦議員は文教経済委員に決定しました。

また全議員の議席の変更を行いました。

第4回定例会

——◇上程議案と審議結果◇——

補正予算案・・・・・・・・3件

○平成17年度一般会計補正予算の専決処分の承認・・・・・・・・・・承認(全会一致)

○平成18年度国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認・・・・・・・・・・承認(全会一致)

○平成18年度老人保健医療事業特別会計補正予算の専決処分の承認・・・・・・・・・・承認(全会一致)

条例案・・・・・・・・9件

○総合計画審議会条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

○職員の公益法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

○議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例

の一部を改正する条例・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

○市税条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・原案可決(賛成多数)

○消防団員にかかる退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

○私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

○国民健康保険税条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

○医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

○助役の給与の特例に関する条例・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

一般議案・・・・・・・・4件

○東野下水路支線[第1工区]築造工事の請負契約・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

○出川小学校体育館新築工事(建築)の請負契約・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

○消防自動車の購入契約・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

○和解及び損害賠償の額の決定・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)

議員提出議案・・・・・・・・1件

○北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議・・・・・・・・・・原案可決(全会一致)



市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、17名の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、33項目の一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)

1 市民病院北側屋外に待合所設置について

質問者 水谷 忠成

【質問】市民病院の時間外出入口の屋外は、患者送迎時に自家用車の専用停車帯がないので、救急車の搬入を妨害しないように乗降をしなければなりません。

また、待合室がないために、特に冬季の来院時には寒く非常につらいものです。時間外出入口の屋外に専用の停車帯及び待合室を設置するなど施設の充実を図るべきと考えますが、当局の考えを問う。

【答弁】現在、夜間・休日の送迎に係る待合は、建物内の救急外来待合室を利用していただいております。屋外での待合室設置には、工事スペースの確保が必要となりますので、来院者にとってより利便性の高い方法を検討いたします。



時間外入口改修構想図

2 病院NST導入の徹底について

質問者 伊藤 隆司

【質問】栄養サポートチームNSTのメリットは、①入院日数短縮による収益増加の経済効果。②コ・メディカルも含めチーム医療の取り組みにより、それぞれのモチベーションが上がり、院内感染、医療事故等の防止。③経口摂取による免疫機能のアップ。④病診連携により地域医療への貢献。より一層取り組みの強化をして、病院の改革を進めるべきではないかを問う。

【答弁】市民病院では、栄養療法を浸透させるために、医師を中心としたスタッフがチームを組み、低栄養状態の患者さんの基礎体力を高め合併症等を抑制し、術後感染、入院日数等の減少



を目指して栄養管理を行っております。また、退院後の栄養管理につきましても、病診連携により地域医療に貢献できるよう栄養サポートに取り組んでまいります。

3 通学区域について

質問者 林 克巳

【質問】少子化が続く傾向の中、住宅開発や核家族化など社会環境の変化の影響により、通学区域を設定した当時と比べて人口構成が著しく変化し、小学校規模に違いが生じてきている。児童生徒が良好な環境のもと安全に通学することができるように、市内全域の小学校を適正規模にバランス良く配置するため、通学区域の見直しをする時期だと思うが当局の考えを問う。

【答弁】通学区域の変更は、地域コミュニティ活動への影響や、既に通学している児童への影響等を考えますと、地域全体の総意が必要と考えます。今後、児童推計や社会情勢の変化を見の中で、通学上の安全確保、地域コミュニティ活動及び通学距離等、通学区域再編成の基本方針を踏まえ、春日井市全体の適正規模、適正配置を研究していきます。



4 住環境を守るために条例、要綱の改正を求める

質問者 中藤 幸子

【質問】現行の紛争予防条例や開発指導要綱では、既存ビル屋上への携帯電話中継鉄塔の設置や用途変更による複合型ゲームセンターを開業する場合に、事業者が地元住民への説明が義務づけられていない。その結果、住民はある日突然その姿を見て困惑することになる。住民への説明を義務づけ、市内の住環境を守るた

めに条例、要綱の見直しをすべきではないか。

【答弁】周辺の住環境に影響を及ぼす恐れのある建築物については、条例や指導要綱により関係住民に周知を図ることとなっていますが、これらに該当しない住民の生活環境に影響を及ぼすと想定される案件については、近隣住民の皆さんとの協調も必要ですので、指導要綱等の適用範囲について事業内容を精査し、要綱の見直しの検討をしていきたいと考えております。



5 環境施策について

質問者 黒田 龍嗣

【質問】資源・ごみの分別の徹底を図るとともに、排出ルールを守りごみに対する意識を高めるため、「指定ごみ袋」の導入が予定されています。

ごみ袋の規格について①市民の皆さんの指定ごみ袋に対する意見・アイデア等はどのように取り入れるのか問う。②スーパー等小売店で使用しているレジ袋を有効活用するため、指定ごみ袋として使用できないか。

【答弁】①導入に先立ち、広報等で市民の皆さんから指定袋の規格等に関する意見の募集を行い、これらの意見を踏まえ、指定ごみ袋の規格を定めました。②レジ袋は、飲料缶、ガラスびん、ペットボトル及び古着などの資源や危険ごみの排出時に使用できます。なお、指定袋の規格に適合するものは認めていきます。



6 子どもの教育について

質問者 田中 康則

【質問】子が親を、親が子を、友が友をいとも短絡的に殺めてしまう、悲しいことが毎日のように起きています。子どもは国の宝、子どもの安全と教育は更に力を注がなくてはなりません。親の都合での子ども会への未加入者の抑止、親の嗜好による卒業式への紋付、袴姿での参列、払えるのに払わない給食費、善悪のけじめ希薄な万引等一段と強い有効な指導対策を問う。

【答弁】子ども会については、各種情報の提供に努め、魅力ある子ども会活動への参画と加入促進のチラシを配付してPRに努めています。卒業式の服装は保護者の判断ですが、本来の趣旨から逸脱しないよう、よく話し合っていきます。給食費は基本的な性格を保護者に説明します。子どもの問題行動解決は地域ぐるみの取り組みが必要と考えます。また家庭で善悪のけじめや親子の対話の機会を増やすよう市民に啓発し、新たに地域社会での役割を担うため青少年が企画し、広く公共心を育てる「心の教育」事業を実施します。



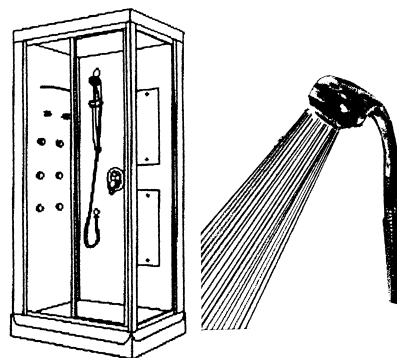
子どもは国の宝物！
みんな我が子！

7 学校におけるアレルギー疾患対策について

質問者 山際 喜義

【質問】子ども達の約4割にアレルギー症状がある。命に係わるぜんそくも1割以上いる。学校の健康教育が重要。国の「ぜんそく死ゼロ作戦」の提唱する「ぜんそく患者カード」を導入してはどうか。アトピー性皮膚炎の子ども達に学校でシャワーを使い、汗や汚れを流し、スキンケアを行えば症状を65%改善できる。学校保健室にシャワールームを整備する事について問う。

【答弁】学校では主に学校保健、学校安全、学校給食の3つの視点から子どもの健康保持に努めるとともに、保健学習・保健指導を、道徳・特別活動・総合的な学習の時間等全体を通じて推進しています。「ぜんそく患者カード」など特定の病気に
関する具体的な
取り組みについ
ては今後の研究
課題とします。
また保健室のシャワールーム設置については検討します。



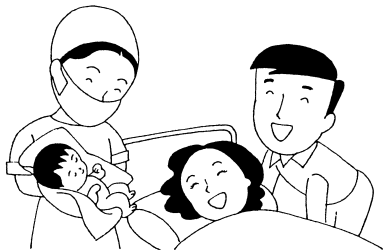
8 胆道閉鎖症の早期発見について

質問者 諸戸 護子

【質問】乳幼児の疾病の中でも死亡率の高い「胆道閉鎖症」は生まれつきまたは乳児期に何らかの理由で胆

道が閉鎖され、黄疸が出て肝硬変を引き起こし完治できない疾患ですが、生後60日以内に手術を行うことで良好な結果が期待できます。早期発見・早期治療のため1カ月健診時に「便色カラーシート」を利用した胆道閉鎖症のスクリーニング導入について考えを問う。

【答弁】現在、母子健康手帳の保護者の記録欄に便の色の質問項目を設けていますが、便の色が文字での説明のためわかりづらい面がありますので、「便色の見本のカラーシート」を交付するなど改善を検討します。併せて国の研究報告や実施自治体の状況を参考の上、医師会など関係機関と協議しながら、効果的な診断体制についても調査研究を進めます。

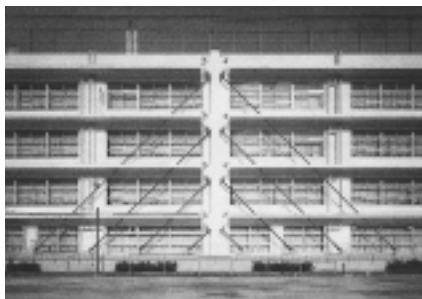


9 小中学校等耐震化について

質問者 水野 義彦

【質問】東海、東南海地震など懸念される中、市民の防災への関心度は高い。全国の公立小中学校の校舎や体育館などの耐震化率は、54.7%であり、県内では、67.2%と上回るも一宮市37.9%、小牧市44.9%、春日井市では30.1%です。安心で安全なまちづくりの中で耐震化について、どのように思われているのか、また今後の見通しについて問う。

【答弁】学校施設の耐震化率は昭和56年以前の建物が多いことから低い状況です。学校の安全性の確保は重要な課題ですので、耐震指標0.3未満の建物の耐震補強工事を平成17年度は5棟実施し、18年度は3棟予定しています。今後は平成19年度から5カ年で0.3以上0.4未満の16棟の補強工事を計画しており、順次0.7未満の建物について、耐震化を進めていくよう検討していきます。



10 循環型社会形成推進地域計画の策定について

質問者 石原 名子

【質問】循環型社会形成推進地域計画の内容とスケジュールについて、また計画策定にあたり、循環型社会づくり推進のキーワードとして「もったいない運動」を盛り込んでいく考えについて問う。「もったいない運

動」について、全国で展開がされているが、本市において「もったいない運動都市宣言」を行い、「もったいない運動」を積極的に推進していく考えを問う。

【答弁】本計画は、今後予定しています廃棄物処理施設整備にあたって国から交付金を受けるために作成するものです。ごみの減量、再使用、再利用の取り組みを表す「もったいない運動」については、この計画への記載を含めてあらゆる機会を通じて進めていきます。「もったいない運動都市宣言」は、平成13年の「環境都市宣言」の中に含めて運動を展開してまいります。



11 防災計画について

質問者 丹羽 一正

【質問】①災害時に重要な役割を担う防災士の養成講習を、職員に受講させてはどうか。ポニター、一般市民の中にも防災士の資格を有する方々がみえるが、市では活用するための制度などはあるのか。②自主防災組織は全市的に育成が進められているが、役割分担や活動マニュアルの周知が必要ではないか。③地震災害時の避難所運営について、どのように考えているのか。

【答弁】①防災士の登録は防災ボランティアの登録制度にあわせて研究し、職員研修は今後の課題とします。②自主防災組織については今後も地域防災計画に基づき、必要な知識や情報の提供に努めていきます。③避難所運営については、地域防災計画及び避難所運営マニュアルで使用方法等を定め、また地域の職員も配置しているが、今後も体制の整備に努めていきます。



12 あいち・出会いと体験の道場について

質問者 長谷川 健二

【質問】現在、市は中学生に1日程度の職場体験を行っているが、本年より県からの要請で3～5日間となる。この体験を通して、生徒は社会の成り立ちや適切な人間関係、命の大切さや働くことの尊さを学ぶことにな

る。この企画は学校だけでなく、地域全体で取り組む必要があり、学校・家庭・地域の三者が連携して対応すべきだが、市はどのように取り組むのか。

【答弁】この事業は、大人へと心身ともに大きく成長する時期に、働くことの意義、責任感などの社会性を身に付けてもらうとともに、将来の職業選択の一助ともなり、進路学習の一環としても有意義なものと認識しています。日数が多くなることで、体験職場の確保や総合的な学習の時間内の比重が大きくなり過ぎる点は、今後慎重に計画を進める必要があります。

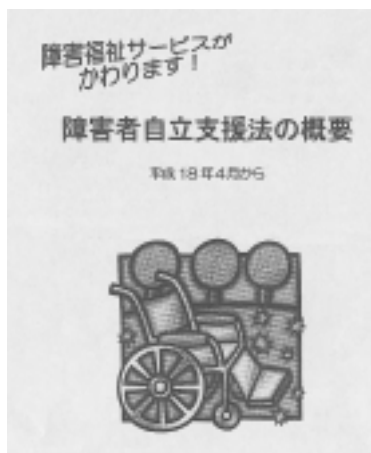


13 障害者自立支援法について問う

質問者 内藤 富江

【質問】この法律の実施に伴い、従来受けていたサービスが受けられなくなるのではないかと不安を与えています。また施設にとっては報酬単価の切り下げや日払い方式への変更により安定した運営が困難な状況を作り出しています。利用者負担に対する市独自の軽減策、地域支援事業の充実、報酬単価の引き上げや月払い方式に戻すことを国に要望することについて問う。

【答弁】利用者負担の軽減策については、サービス利用の実態を確認し、利用が低下し、自立生活が大きく阻害されている実態があれば、その結果を踏まえて検討します。地域生活支援事業は、これまでのサービス水準を低下させないように実施します。施設の経営については、今後、さらに実態把握に努め、運営上の問題があれば、国への要望等について研究していきます。



14 高蔵寺ニュータウンの今後のあり方について

質問者 内田 謙

【質問】高蔵寺ニュータウンは、開発計画が発表されてから半世紀が経過しようとしている。当時は想像もしなかった少子・高齢化が急速に進んでいる。このよ

うな状況の中で、国土交通省は「計画開発住宅市街地（ニュータウン）の再生に向けて」の提言を発表した。市当局は、提言についてどのような見解を持っているか問う。

【答弁】提言は、ニュータウン全体の目指すべき指針のひとつと考えます。高蔵寺ニュータウンの再生は、現在進めています新長期ビジョンの策定において市の重要課題と位置づけ、市民アンケートでも新たに項目を設けました。今回の提言や他のニュータウンの取り組み状況も踏まえ、関係機関と連携し、高蔵寺ニュータウンの方向性について検討してまいります。



15 新市長の市政方針について

質問者 宮地 隆

【質問】市のホームページには未だ前市長の市政方針が載っていますが、新市長の考えをどう反映していけるのか。市長は、マニフェストで、少人数学級について取り上げているが、その考え方について。公共下水道計画の見直しはどう取り組むのか。ホテルへの税金投入については研究すると選挙後の記者会見で述べているがその真意は。などについてお尋ねします。

【答弁】今後、事務事業の見直し等による「改革と創造」を進めつつ、新長期ビジョン策定の中で政策を明確にしていきたいと思います。少人数学級の拡大については賛否両論があり、他市の状況をよく研究した後、指導体制を考えます。また現行の公共下水道区域について、長期的な視点に立ち、整備推進に向けた調査、研究を行います。ホテルへのこれまでの市税投入の必要性等をいろいろな角度から研究し、今後の検討につなげるという趣旨です。



河川整備計画
河川整備計画は、河川の自然環境を保全し、水質を向上させ、河川の機能を回復させることにより、河川の環境を向上させることである。河川整備計画は、河川の自然環境を保全し、水質を向上させ、河川の機能を回復させることにより、河川の環境を向上させることである。

16 高齢者による子育て支援について

質問者 後藤 正夫

【質問】団塊の世代の定年とともに、高齢者社会が到来する。シルバー人材センターは、就業の機会を提供し生きがいの充実、社会参加の推進を図っている。

高齢者が長年にわたり培ってきた豊かな知識を活用する「高齢者活用子育て支援事業」について、シルバー人材センターとの連携や事業の見解を問う。

【答弁】本市の子育て支援策には幅広い分野で、高齢者の方々に積極的なご参加をいただいています。経験豊かな高齢者が子育ての担い手となるように、「高齢者活用子育て支援事業」の利用も視野に入れながらシルバー人材センターの体制整備などの準備を進めてまいりたいと考えております。



17 人件費問題

質問者 蟹江 光正

【質問】「春日井市市民サービス公社」を一步、前進させ、総合サービス株式会社として更に充実させてはどうかを問う。平成18年4月、3つの外郭団体を統合して、新たなスタートをしたサービス公社を、株式会社化することで、人件費、退職金の削減と市民の多様なニーズへの対応が可能になると思う。大胆なアウトソーシングで職員の純減を図るべきではないか。

【答弁】職員の削減計画については、第4次行革大綱で9%削減するとともに、既に水道事業や市民課窓口業務など民間委託により、着実に計画が進行しています。公社は改革を始めたばかりであり、また、公益法人改革関連3法も成立したため、今後この対応も早急に行う必要があります。ご提案の内容については、これらの検討の中で、研究課題としたいと考えます。



掲載以外の質問項目

- 市民病院駐車場の有料化について
- 廃プラスチック油化還元装置について
- 市長の市政運営について
- 上条城跡の保存について
- 県市町村振興協会について
- 総合防災訓練について
- 文化的建立物の保存について
- 地域包括支援センターと地域支援事業について
- 「食育」の推進について
- 全国リサイクル商店街サミット春日井大会について
- 区画整理事業について問う
- 平和行政について
- 教育行政について
- 区・町内会の活動と選挙運動について
- 市民が市に提出する申請書等の「春日井市長様」について
- 職員採用と人材育成について

平成18年 第5回 定例会 予定

- ▽9月11日(月) 本会議(提案理由説明)
- ▽9月13日(水) 本会議(質疑)
- ▽9月15日(金) 文教経済委員会
- ▽9月19日(火) 厚生委員会
- ▽9月20日(水) 建設委員会
- ▽9月21日(木) 総務委員会
- ▽9月26日(火) 本会議(一般質問)
- ▽9月27日(水) 本会議(一般質問)
- ▽9月29日(金) 本会議(採決)

※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。 問い合わせ 議事課(☎85-6492)

編集後記

第4回定例会では、一般質問に17名が立ち、質疑は2日間にわたり、活気が出ました。

議会での発言は重要である。新しい時代の風の到来。追い風もあり、逆風もある。草木がなびき、どんな隙間も吹き抜ける。その存在は大きい。議会という内容を少しでも周知することは大切である。夢と希望あふれる街づくりを描かずにはいられません。編集委員一同、読まれる議会報づくりのため、頑張ります。

編集委員一同